

【運転・定検状況（区分）】

平成 18 年 12 月 30 日

6号機の復水器連続洗浄装置の点検について

東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所 6 号機（改良型沸騰水型、定格出力 135 万 6 千キロワット）は、定格熱出力で運転中のところ、12 月 29 日午後 4 時頃、3 台ある復水器¹のうち 1 台（C）の連続洗浄装置にあるボール捕集器²のスクリーン部が閉じたままで開かない状態になりました。

原因は、海水とともに入り込んだゴミや貝などの海生物が当該スクリーン部に詰まっていることが推定されることから、本日午後 7 時より発電機出力を約 40%（約 54 万キロワット）まで低下させて、復水器（C）の冷却機能を切り離した上で、当該捕集器の点検・清掃作業を行うことといたします。

この洗浄装置による復水器の洗浄ができないことは、プラント運転において安全上支障はありませんが、今後、復水器の冷却能力が低下する可能性もあることから、点検・清掃作業を実施するものです。

なお、点検・清掃作業終了後に定格出力に復帰させる予定です。

以 上

1：復水器：

タービンを回した蒸気を海水により冷却して水に戻す機器。

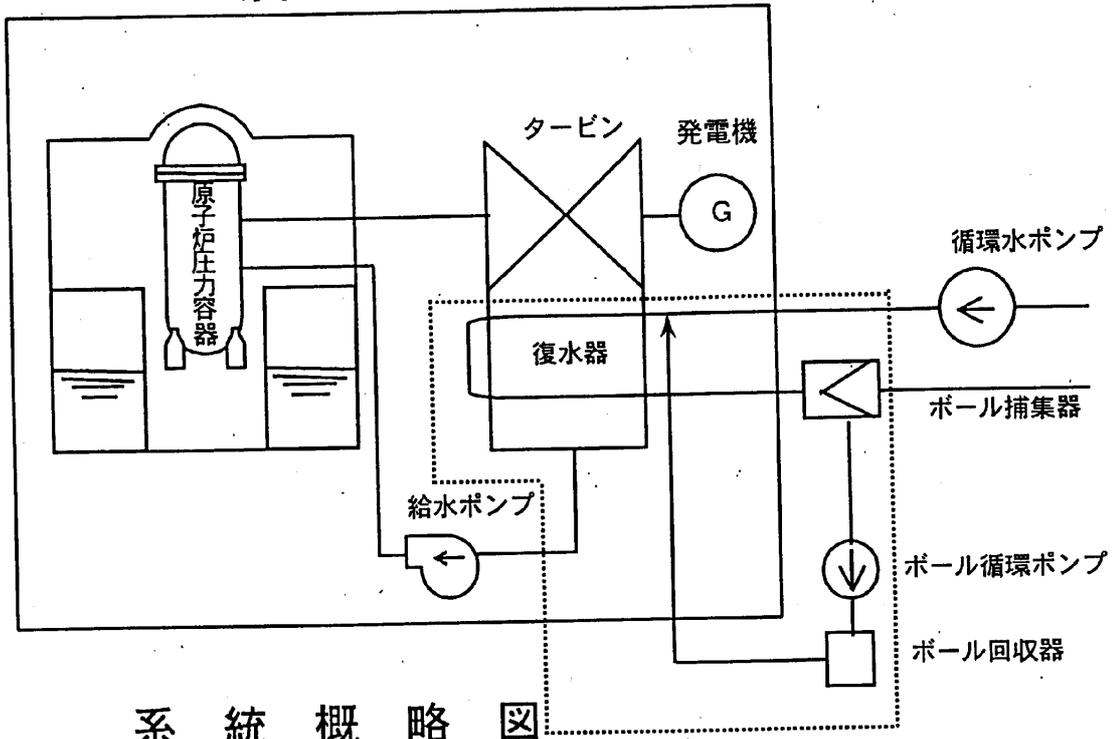
2：復水器連続洗浄装置ボール捕集器：

復水器内の細管に付着した海生物を細管より少し大きめのスポンジボールにより除去しているが、この作業を終えたスポンジボールを回収するための格子状の装置。この洗浄方法は原子力発電所に限らず火力発電所でも活用されている。

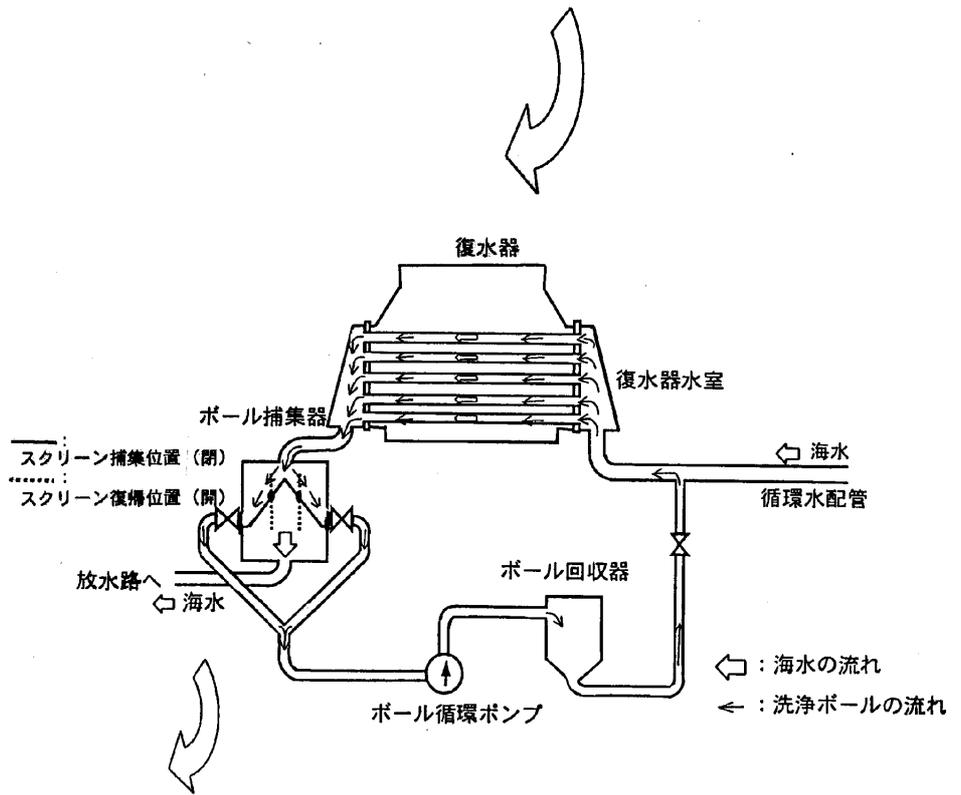
本件は「不適合事象の公表基準」に従い、区分 の事象として、発生した不適合事象を翌日に取りまとめて公表しているものです。

（不適合事象の公表基準：<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/incomp/images/kijun.pdf>）

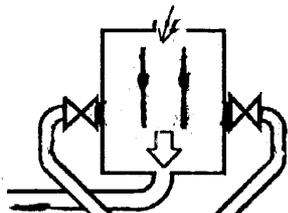
原子炉・タービン建屋内



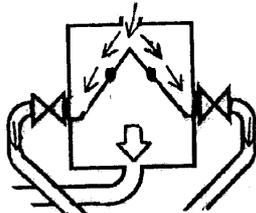
系統概略図



スクリーン復帰位置 (開)



スクリーン捕集位置 (閉)



復水器連続洗浄装置概略図